

Column

未来を見据える次世代メンバー

次世代中核メンバー会議では所属する会社や部門が異なるメンバーと、月2回のペースで真剣に日本調剤グループの未来について議論を重ねてきました。

今回、次世代メンバーの4名が次世代中核メンバー会議に参加したことでどのような変化や気づきがあったのか、またビジョン実現に向けた思い、社内浸透や実行への意気込みを語ります。



日本ジェネリック(株) 経営企画室
奥野 亮太

『ありたい姿』の策定にあたっては、属する事業体や個人それぞれの立場等においてもさまざまな捉え方ができるものであり、この抽象的な事象に対する考察を突き詰めていくという工程は哲学的な要素も含まれて、非常に難しいものでした。

グループの垣根を超えたメンバーが、さまざまな思いやアイデアを持ち寄り、時間をかけてさまざまな角度から議論を行う中で、『これからもっとグループは良くなっていく』という確かなわくわく感を感じることができました。

今後は、ここで得た経験を医薬品製造販売業内に持ち帰り、長期ビジョンの実現に向けて切磋琢磨していくことに生かしたいと思っています。

私は次世代メンバーとして、2023年9月から7ヶ月、事務局兼メンバーとして2024年4月から6ヶ月長期ビジョン策定に向けて議論に参加してきました。

当初は横浜第二支店の薬剤部長として参加していたので、調剤事業からの視点を中心でしたが、他部署やグループ会社の方と議論を交わし、日本調剤グループの事業の幅広さを知り、グループとしてのさらなる可能性を感じました。新しいビジョンでは、何度も議論した3つの柱についてしっかり浸透させていきたいです。部署を超え、グループを超えて日本調剤グループの未来を議論する機会をさらに増やすことでシナジーやイノベーションを創出していくことを楽しみにしています。



日本調剤(株) グループ経営企画部
井上 紘子

私はこれまでグループ理念や、他のグループ会社に日常で思いを巡らせる機会があったかという正直なところほぼなかったと思います。今回次世代中核メンバー会議に参加し会社を超えて交流する中で、自分が同じグループに属しながら、他のグループ会社について知らなかったと言うことに改めて気づきました。それぞれの社風、従業員の方たちの考え方、当然ですがそれぞれに違いや個性があります。それぞれが違うからこそ同じ方向を目指すための指針が必要で、それが今回の新長期ビジョンだと思います。ただ、ビジョンはあるだけでなく、それに向けて全員が考動しなくては意味がありません。今後は「誰か」ではなく、まずは我々一人ひとりがエバンジェリストとして考動していきたいと思っています。



(株)メディカルリソース 医師事業部
金谷 政博



(株)日本医薬総合研究所
ヘルスケアコンサルティング事業部
市川 博章

次世代中核メンバー会議に参加し、「ありたい姿」の策定に関わったことで、会社の未来を創り上げるという強い責任感とやりがいを感じました。異なる職域や異なる視点を持ったメンバーが一つのビジョンに向かい意見を交わし、共通の目標を明確にできたことは、私自身にとって大きな成長の機会となりました。今後のフェーズでは、このビジョンを全従業員に浸透させ、一人ひとりが主体的に行動できる環境を整えることが重要です。全従業員との目標すり合わせと共感を大切にし、新長期ビジョンの実現に向けて、全力で挑戦し、会社の未来を切り開いていく覚悟です。